

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		浸水対策事業				②事業番号		6303	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
						年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱	
⑦実施手法		直営		○ 全部委託		一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		7		項		3	
⑨担当部名		都市整備部		⑩担当課名		下水道課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 排水ポンプ施設		① 排水ポンプ施設数		箇所	
②		②			
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
以下の業務を委託している。 ・年間を通しての排水ポンプの運転管理 ・年間を通しての排水ポンプの点検・整備 ・排水ポンプ施設の修繕		① 修繕回数		回	
		② 管理、点検委託		件	
		③			
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
施設の機能を保持し、良好な状態に保つ。		① 浸水件数		件	
		計算式			
		②			
		計算式			
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
浸水被害防止のための排水施設の整備とその適切な管理・運用を進める。		政策(章)		5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)		1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします	
		施策中		1 河川・ため池の保全と活用	
		施策小		2 排水施設の整備	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	排水ポンプ施設数	箇所	8	8	8	8	8	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	修繕回数	回	2	2	2	2	2	
活動指標②	管理、点検委託	件	7	5	3	5	5	
活動指標③								
成果指標①	浸水件数	件	0	0	0	0	0	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.30	0.30	0.15	0.15		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	2,432	2,314	1,145	1,145		
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	7,159	5,667	5,097	16,505		R3年度は工事実施のため、直接事業費が増額となる。
	直接事業費	千円	9,591	7,981	6,242	17,650		
	総事業費	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	1,100	0	900		
	一般財源	千円	9,591	6,881	6,242	16,750		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	住民を浸水被害から守るため、排水ポンプを設置したことによる。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	今後の排水ポンプ施設の老朽化に対応していかなければならない。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)				〔1〕の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等			
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)		ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	安全で快適な生活は市民の最も望んでいることのひとつである。		

〔2〕有効性				〔2〕の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。		ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	近年は浸水被害がおさえられている。		
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)		ア. ある イ. ない	老朽化したポンプ施設の改修を行うことにより、より大きな成果を得られると思われる。		
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。		ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	水防活動と連携し、成果の向上を目指す。		

〔3〕効率性				〔3〕の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)		ア. ある イ. ない	—		

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
	A	—	

A:現状のまま事業を進めることが適当
 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要
 (事業の進め方に改善が必要)
 C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要
 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要)
 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性> ア ア. 現状のまま継続 ↓ <今後の展開方針> イ. 見直しのうえで継続 ↓ ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)					
a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)					
①改革、改善の具体案、実施年度など			—		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			—		